

接触型わき芽抑制剤の処理法

福島県たばこ試験場
平成16年度成績概要

1 部門名

特用作物—タバコ—その他
分類コード 06-01-99000000

2 担当者

吉田辰雄

3 要旨

- (1) ブルーリボンはイエローリボンと比較して、株当たりのわき芽数は多いが、わき芽重量は小さかった。しかし、比較薬剤のエキガゾール、コンタクト(わき芽1本当たりわき芽重は除く)よりは効果が劣った。品質は、熟度、組織、葉肉ではブルーリボンが良好であった。色沢ではイエローリボンが良好であったが、比較薬剤よりは劣った。
- (2) 基準希釈と1.2倍希釈とは、ほぼ同程度の抑制効果であった。1.4倍希釈は、わき芽重(1本当たり)では、基準希釈と1.2倍希釈と同等の抑制効果があった。品質は、1.4倍希釈が色沢を除いて有意差はみられないが良好であった。
- (3) 処理量は、15ml/株で効果があった。品質の有意差はなかった。
- (4) 処理回数は、1回処理でわき芽数が多いが、わき芽重では有意差は見られなかった。また、品質の差はなかった。
- (5) 収穫日が早いほど、品質は良好であった。
- (6) ブルーリボン(基準希釈・20ml/株・1回散布、基準希釈・15ml/株・2回散布)及びイエローリボン(基準希釈・15ml/株・2回散布、1.2倍希釈・15ml/株・2回散布)は、心止後14日、28日、36日でコンタクトと同等以上の抑制効果があった。

4 その他の資料等

なし